

プライベート・ライアン

2026 FIFAワールドカップは北米3か国で共同開催され、史上最大枠となる48か国が参加、アジア勢も過去最多の9か国が出場しました。結果は、日本とオーストラリアがグループ2位で通過、イランと韓国は3位の上位8チームに入ることができずに大会を去ることとなりました。特に韓国は自国メディアもグループAを「**蜂蜜組**」と報じるなど楽勝を予想していましたが、「**死の組**」と同情されたグループFの日本の決勝ラウンド進出の裏で敗退の結果となりました。さすがに「**死の組**」から勝ち上がった日本（森安ジャパン）も、優勝最多国のブラジルの前に力尽き、ベスト32で涙を吞みましたが、それでも選手団のプレー内容にとどまらず、サポーターの言動にも、世界中から称賛の声が寄せられました。



ところで、サッカーのワールドカップと共に今年の3月には野球の**WBC**も行われましたが、日本では**Netflix**の有料会員登録が必要だったため、私もあわてて登録しましたが、侍ジャパンの惜敗終了と共に視聴は休止状態でした。年会費も気になる額でなかったのも、そのまま継続状態です。そんな先日、配信プログラムを確認中に、気になる洋画が目に残りました。第二次世界大戦のノルマンディー上陸作戦において、行方不明となった一人の米軍兵士の救出に向かう部隊を描く戦争映画で、**スティーヴン・スピルバーグ監督トム・ハンクス主演による「プライベート・ライアン」**です。（アカデミー賞でも11部門にノミネートされ、全世界で大ヒット）ストーリーは、壮絶な戦闘のあと、ノルマンディー上陸作戦を成功させた米軍だったが、ドイツ軍の激しい迎撃にさらされ多くの戦死者を出してしまう。... そんな中、米陸軍参謀総長マーシャルの元に、ある兵士の戦死報告が届く。それは「**出征したライアン家4兄弟のうち3人が戦死したというものであり、更に残る末子ジェームズ・ライアンも、上陸作戦の前日に行なわれた空挺降下の際に敵地で行方不明になった**」という報告であった。マーシャルは（銃後の国民の戦意維持と3名の子供を失った悲痛の母親のためにも）ライアンを保護して本国に帰還させるように命令する。... トム・ハンクス演ずるミラー救出部隊は、苦闘の末ついに探し求めていたライアンを発見する。そして、ライアンに参謀総長じきじきの帰還命令を伝えるが、彼は兄弟たちの死にショックを受けつつも、ミラー隊がすでに相当な犠牲を払ったことも知り、「戦場の仲間を見捨てて帰れない」と命令を拒否する。... 最終的にライアンの生還は果たせたが、救出に向かったミラー隊はほぼ全滅状態になったのでした。（「プライベート」（Private）とは、アメリカ陸軍の階級名称で、「二等兵」および「一等兵」と訳される）



さて、この「**向日葵だより**」の**私のコラムの連載**も、この号を持ちまして筆をおかせていただくことになりました。事務所の組織体制・サービス内容の充実と刷新・提供させていただく**会計システム・ソフトの高機能化を目指して改革に進行中**です。この一環で、「向日葵だより」も、大幅に刷新される運びとなりました。**1997年10月の創刊以来長きにわたりお付き合いいただきました皆様に、心から感謝申し上げます。**